

J R神戸線 垂水駅における消火用設備の不具合について

J R神戸線垂水駅において消火用設備の不具合が確認され、火災発生時にスプリンクラー等から十分な散水ができない状況になっていました。

ご利用のお客様にはご心配をおかけし、大変申し訳ございませんでした。

1 概要

2021年12月24日、当社が設備点検を委託していた会社内において、再委託先から受領した消防設備点検結果報告書を確認していたところ、スプリンクラー等へ至る配管のバルブが閉まった状態になっているとの報告内容を確認しました。現地確認を行った結果、消火用設備配管のバルブが閉まっており、駅コンコースのスプリンクラーと補助散水栓、及びホームの補助散水栓による散水が十分にできない状態になっていることが判明しました。2020年1月以降、この状態が継続していた可能性があります。

2 不具合箇所（別紙参照）

垂水駅コンコース 約 1,750 m²（スプリンクラー及び補助散水栓）

ホーム 約 1,880 m²（補助散水栓）

※駅部分のほかの消防設備及び駅構内のショッピングセンター（プリコ垂水）の消防設備については問題ありませんでした。

3 原因

設備管理・点検を委託していた会社において、消防設備点検結果報告書に基づいた適切な管理がなされず、また、報告書の内容が当社に正しく伝わっていなかったため

※バルブが閉まっていた原因は調査中です。

4 対策

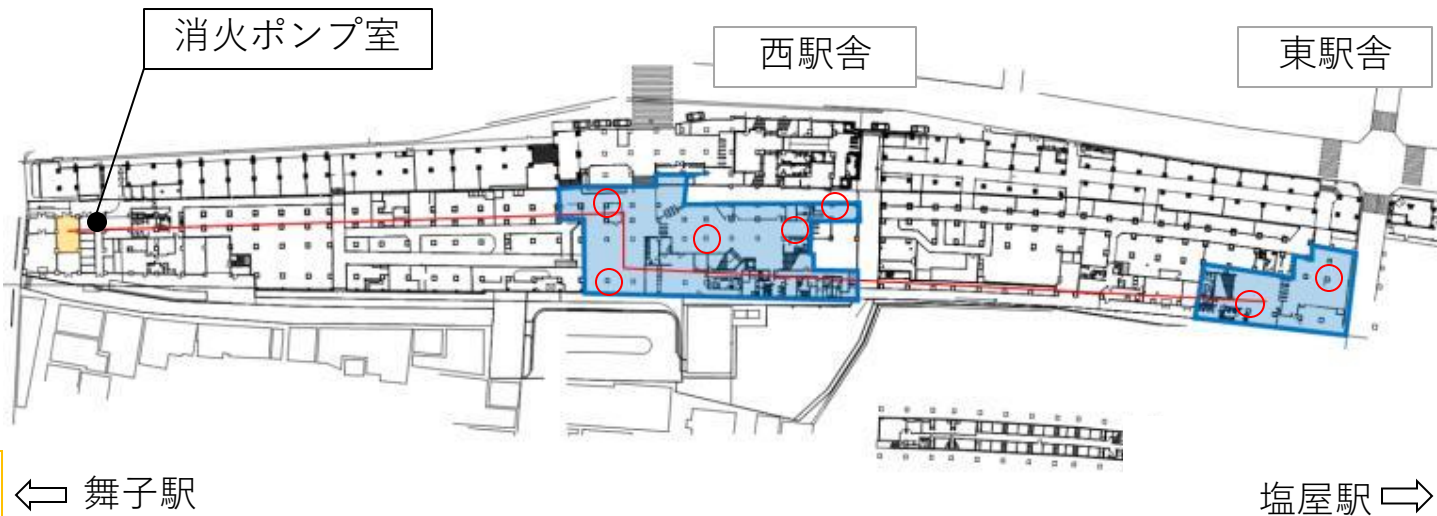
- ・ 2021年12月25日に復旧作業を行い、スプリンクラー等が正常に動作することを確認しました。
- ・ 防火に関する管理を徹底します。

(別紙) 垂水駅構内およびホームの概況

スプリンクラーへ



閉栓されていたバルブ



消火ポンプ室

西駅舎

東駅舎

← 舞子駅

塩屋駅 ⇨

ポンプ室内のバルブ

コンコース

← 舞子駅



塩屋駅 ⇨



ホーム

○ : 補助散水栓

— : コンコース用スプリンクラー配管

■ : 今回の影響箇所



補助散水栓